

数学

1. 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

2. 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	0章. 整数の性質	10	反比例の性質と調べ方
	1章. 正負の数 正負の数 加法と減法		比例と反比例の利用
5	加法と減法 乗法と除法	11	5章. 平面図形 図形の移動 基本の作図 おうぎ形 後期中間テスト
	乗法と除法 正負の数の利用		おうぎ形
	2章. 文字と式 文字を使った式 文字式の計算 前期中間テスト		6章. 空間図形 いろいろな立体
7	文字式の利用 3章. 方程式 方程式とその解き方	1	立体の見方と調べ方 立体の体積と表面積
8	方程式とその解き方 1次方程式の利用	2	7章. データの分析と活用 データの整理と分析 後期期末テスト
9	1次方程式の利用 4章. 比例と反比例 関数と比例・反比例 比例の性質の調べ方 前期期末テスト	3	データの活用 ことがらの起こりやすさ 1年間のまとめ

※定期テストの他に「単元テスト」や各学年で設定される「学力テスト」があります。

3. 評価の観点（目標）と方法

- 知識・技能**：数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
- 思考・判断・表現**：数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 主体的に学習に取り組む態度**：数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

評価の観点	方法（評価の資料となるもの）
知識・技能	テスト、まとめプリントなど
思考・判断・表現	テスト、授業中の発言やグループでの話し合いなど
主体的に学習に取り組もうとする態度	粘り強く考える姿勢、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度、ワークの提出など

4. 授業について

- 必ず使う道具 ⇒ 教科書，ノート，ワーク，ファイル【4点セット】
- 時々つかう道具
 - ・テストの解きなおし用ノート（弱点克服ノート）：ノートを1冊準備してください。
 - ・コンパス：使うときには早めに連絡しますが、準備しておいてください。

●授業中に大事なこと

①分からないときは「分かりません」と言おう！

→数学は積み重ねの教科です。分からないが積み重なると‘数学嫌い’につながってしまうので、分からないを1つ1つなくしていきましょう。

②数学が得意な人は、積極的に（数学の苦手な人に）教えよう！

→人に教えることで、考えが整理され理解が深まります。

③数学が苦手な人は（得意な人に）「教えて」と言おう！

→お互いに助け合っていきましょう。

④授業中は、メリハリをつけよう！

→盛り上がるときは、みんなで盛り上がろう。ただし、説明を聞くときや、真剣に問題に取り組むときは静かに取り組もう。

⑤間違えることは恥ずかしくない！どんどん間違えよう！

→間違えることで「何が悪かったのか（原因）」が分かって「こうすればいいんだ（対策）」を知ることができます。間違えてもいいので、どんどん問題にチャレンジしてください。もちろん、間違えた人を馬鹿にすることはダメです。みんなで間違えながら学んでいきましょう。

5 その他

①ノートについて：普段から、黒板に書いたこと以外のことをメモする（例：先生が言った大事な言葉、‘分からないから後で調べよう！質問しよう！’と思ったポイントなど）工夫しているとノートが参考書代わりになるので、テスト前に便利です。ぜひ、やってみてください。

②1 + 1 = 2のような計算問題だけではなく、思考力を問う問題（なぜそうなるのかを自分なりに考え、説明を加えながら解答していく問題）を定期テスト・単元テスト・課題レポート等に出します。最初は戸惑うこともあるかもしれませんが、諦めないでください。まずは、少しでも書くことを意識して続けてみてください。サポートもしていきますので、一緒に頑張ってください。